

経済学部 ホームページ

経済学部のさらに詳しい情報、最新のトピックスを知るには、「経済学部ホームページ」をご確認ください。ゼミでの研究テーマを紹介する「ゼミPRESS」や学部独自で実施する「短期留学プログラム」など、学びの魅力に触れられるコンテンツが充実しています。



関西大学 入学試験情報総合サイト Kan-Dai web

オープンキャンパスなどのイベント情報や入試に関する最新情報など、受験生を応援するコンテンツが満載! 社会で活躍する卒業生インタビュー、学生インタビューなども随時更新しています。



関大 入試 検索 /クリック!



関西大学の最新情報をチェックしよう!

LINE 関西大学 入試センター 公式アカウント



友だち登録はこちらから!

Instagram 関西大学 入試センター 公式Instagram



X 関西大学 入試広報グループ 公式 X



YouTube 関西大学 入試センター 公式YouTube



大阪(大阪梅田)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」駅から、「北千里」行で「関大前」駅下車(この間約20分)、すぐ。または「京都河原町」行の場合「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車。

京都(京都河原町)からのアクセス

阪急電鉄「大阪梅田」行で「淡路」駅下車、「北千里」行に乗り換えて「関大前」駅下車、すぐ。

Osaka Metro利用のアクセス

Osaka Metro堺筋線(阪急電鉄に相互乗り入れ)が阪急電鉄「淡路」駅を経て「関大前」駅に直通しています。

新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅からOsaka Metro御堂筋線「なかもず(方面)」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方(みなみかた)」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

大阪国際(伊丹)空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市(かどまし)」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車(この間約30分)、すぐ。

経済学部

FACULTY OF ECONOMICS

経済学科

- 経済政策コース
- 歴史・思想コース
- 産業・企業経済コース
- 国際経済コース

関西大学経済学部では 各々の興味・関心に応じた 4つのコースを提供しています

学部長からのメッセージ

学生のニーズにあった多様な学びをサポートします

関西大学経済学部では、専門科目を導入・基本・展開科目と分類し、経済学を無理なく体系的に学べるプログラムを導入しています。具体的には、1年次は比較的身近な教養科目、外国語・専門科目をバランスよく履修・習得し、その後に専門科目を深く学べるような授業体系となっています。また、3・4年次に履修するゼミナールや卒業論文は、授業で身に付けた知識や技能を生かす実践科目として位置付けています。

大学4年間を通じて、教員や他学生との密接な交流を経て、自らの思考力を高めると同時に社会で活躍するために必要な協働する力を養います。海外留学や資格取得などにも挑戦しやすい環境で、学生一人ひとりが希望する多様な学びをサポートする体制が整っています。

経済学部長 佐々木 保幸 教授



経済政策コース

経済政策とは、景気と物価の安定、所得分配の公平性、資源配分の効率性などについて企てられる政府の方針あるいは計画立案のことです。経済政策の分析手法を習得するために、ミクロ経済学、マクロ経済学さらには各種応用経済学を学びます。また経済政策の効果を予測するために、統計学や計量経済学を学びます。

学びのキーワード

- 環境政策
- 財政政策
- 社会保障政策



実社会で起きている問題を題材に データの扱い方や作り方を身に付けます

ゼミでは、「地方の人口を増やすために必要な政策とは何か」「男性の育休取得率を向上させるには」など、社会で起きている課題や出来事について、理論やデータを用いながらグループで研究を進めています。既に存在するデータを大量に用いたとしても、新たな政策を作ることが難しい場合も多々あります。そのため、データの深掘りや、回帰分析という手法を用いてデータを分析することにより、考察を進めました。また、発表スライドも分かりやすい表現を意識してまとめ、学内のゼミナール大会や他大学との合同発表会に参加してきました。こうして学びを深める中で、税制や社会保障などのニュースに対して、その政策の成立過程に考えを巡らせるようになりました。

2024年3月卒業 岸田 佑太さん

歴史・思想コース

経済や社会思想が発展してきた過程を歴史的に考察します。例えば、大阪には江戸時代、世界に先駆けて先物取引市場を整備した堂島米会所がありました。現代の経済社会は歴史の上に成り立っています。過去を知ること、現代経済の問題を解決するための新たな糸口を模索します。

学びのキーワード

- 日本の近代化
- 資本主義
- 植民地



現在の経済や社会を深く理解するには、 そのルーツを探ることが有効です

日本を含めた世界の経済社会の歴史やその背景となった思想について学び、現代の社会と経済の成り立ちやその課題を解決するためのヒントを考えます。ゼミでは日本の経済社会のさまざまな事柄を歴史的な視点から考察しています。例えば、大阪の中心市街地のルーツは豊臣秀吉による開発にあり、その痕跡は今も数多く残されています。加えて、大阪市内の河川に渡し船が多いのは、江戸時代以来の河川舟運と大阪の経済的繁栄に由来することも知りました。現代と過去は密接に関係しており、歴史的な出来事やものの見方は現在の経済や社会を理解する上でも役立つことを実感しています。

4年次生 谷内 杏樹さん

産業・企業経済コース

企業はビジネスの現場においてモノ・サービスを提供したり、労働者を雇用したり、設備に投資したりと経済活動において重要な役割を果たしています。ビジネスの現場で起きているさまざまな現象の本質を読み解くために、企業の行動原理やビジネスデータを分析・活用する方法を学びます。

学びのキーワード

- マーケティング
- 地域経済の活性化
- キャッシュレス



経済理論を用いて身近な企業の動きを分析することで、 経済の奥深さに触れることができます。

身近な企業の分析を通して、企業や産業がどのような判断・行動を行い、それらが私たち消費者の生活や社会にどのような影響を与えるのかを考えます。具体的には、コンビニエンスストアと異業種とのコラボレーションを取り上げ、両企業間の交渉や利潤の分配について考察します。当初はこうしたコラボレーションによって、生産者・消費者ともにメリットが生じると想定しましたが、「ゲーム理論」や「ナッシュ交渉解」といった経済学の理論を用いて分析したところ、必ずしもそうではないという答えが導き出されました。思わぬ結果になりましたが、簡単には推し量れない生の経済の奥深さやダイナミズムに触れられたことは、今後の学びを深める上で貴重な経験になったと感じています。

4年次生 伴場 語凡さん

国際経済コース

ヒト・モノ・サービス・カネが国や地域を越えて移動するグローバル社会を考察します。モノの移動を考える国際貿易、カネの移動を考える国際金融など世界経済の仕組みを理解するとともに、経済発展著しい中国・インドなど個別の国の経済事情を学びます。

学びのキーワード

- 貿易摩擦
- SDGs (持続可能な開発目標)
- 移民・難民



世界各国におけるジェンダーギャップについて データを用いて分析しています

ゼミでは主にデータ分析を用いて、世界の男女格差とスポーツの関わりについて研究しています。具体的には、オリンピックのメダル獲得数と、政治・教育・健康・経済という4つの指標に基づく男女格差のデータの関連を調査しました。分析を進めてみると、教育と経済がメダル獲得数に影響しているという結果が見えてきて、女性の進学率が低い地域ではスポーツの練習量が少ないことや、女子スポーツ大会の賞金額が少ないと女子アスリートの育成が進まないといったことが考察でき、データに対する理解が進みました。今後はデータ分析に使用する指標を増やして男女格差の実態をつかみ、格差が世界に与える影響を詳しく研究するつもりです。

2024年3月卒業 平木 丞之介さん

学びのプロセス

経済学部では、経済学を読み解く基本ツールの確実な習得、論理的な思考力の養成、問題の分析と解決能力の習得をめざしています。1・2年次で経済学の基礎能力を習得したうえで、3年次以降は各々の関心と目的に沿って、4つのコースに分属し、学びを深めます。



※このカリキュラムは2024年度入学生用です。一部科目は変更される可能性があります

経済学部 学びダイジェスト 学生が主体的に学べる環境が整っていることが経済学部の特徴です。

経済学への興味を高め、4年間を通じ各々の関心に応じた学修をしっかりとサポートします。

1年次 入門的な科目を通して経済学の基礎知識を習得

経済社会の仕組みやその背景にある要素について学びます

私たちが取り巻く経済社会について、マクロ経済学とミクロ経済学を通して学びます。マクロ経済学では円安や人口減少といったニュースを入り口として、経済の仕組みや流れをつかんでいきます。これまで分かったつもりでいたことがよりクリアになり、その背景にさまざまな要因が働いていることも理解できるようになりました。今後も経済学部での学びを通して経済や社会を捉える解像度を上げながら、経済や企業についてより深く学びたいと思います。



2年次生
定金 雅哉さん

2年次 基本科目を中心に、体系的な学修を実現

経済を捉える視野を広げ、自分の将来につなげていきます。

2年次ではより多様な視点から経す。「金融経済論」では計算式を用をはじめとする国内の資金の動きを「国際経済学」では、現在供給が不足している通して、世界経済の動きをつかみまの流れや経済の仕組みを学ぶ科目の先行きを予測したり、将来家計する力が身に付くと感じています。



3年次生
西岡 文誠さん

3・4年次 4コースへの分属、少人数のゼミで専門性を追究

日本における食品自販機産業の現状と今後について分析しました

ゼミでは現代の流通やマーケティング、まちづくりについて研究しています。私たちのグループは日本における食品自販機産業について調べました。事業や製品を「導入期」「成長期」「成熟期」「飽和期」「衰退期」のプロダクト・ライフサイクルに分けて考え、「4Pモデル」を用いて業界の現状と今後を分析。事業者への取材も行い、流通の最前線に触れる機会になりました。研究成果は協力して80枚の資料にまとめ、JA協賛のコンペティションで発表できました。



4年次生
村上 陽菜さん

経済学部独自の留学制度 GoLDプログラム

ビジネスの市場が国境を越えて広がる昨今、世界で活躍できるスキル・感覚を身に付けた人材が社会で求められています。経済学部では、2009年から学部独自の留学プログラムであるGoLDプログラム(Global Leadership Development Program)を実施しています。一般的な留学と同様に、外国語運用能力の向上が目的となるのはもちろんですが、具体的な特色として以下が挙げられます。

外国語を用いて経済学を学び、経済学に関する知識やスキルを身に付けます

現地企業などへ訪問し、他国のビジネスの現場に触れることができます

本学と連携している現地大学にて講義を受け、現地学生とディスカッションができます

現地大学の学生との交流や様々なアクティビティを通じ、異文化社会を体感します

留学先実績(長期および短期の各プログラムは隔年で実施します。)

7~10日間のプログラム

▶ 2024年度実施

台湾

国立高雄科技大学・台湾大学・玄奘大学

- 内容 ● 現地学生と双方の国の文化、社会についてプレゼンテーションやディスカッションを行います
● 日本語、英語、中国語を使って、考え・調べ・まとめ、伝えるスキルを養います



▶ 2025年度実施予定

ベトナム

ダナン大学

- 内容 ● 英語による講義を通じ、ベトナムの経済や文化など、ベトナムに関する幅広い知識を学びます
● 現地企業やさまざまな現場を訪問したり、現地学生とディスカッションを行います



参加学生のアンケートより

▶ 留学経験



▶ 本プログラムを通して得たもの

- 異文化理解
- 経済学に関する知識
- 視野の広がり
- コミュニケーション能力
- 積極性



「ベトナム経済を英語で学び、現地の課題に対する提言を行いました。」

ベトナム経済が急成長を遂げた理由と今後の課題について、授業中に議論を重ね、現地企業なども訪問。最終日には英語でプレゼンテーションを行いました。また、ぼんやりと思いついていた進路についても、これまでとは違う視点で考える機会となり、海外の大学院進学も将来的な選択肢の一つとなりました。

4年次生 井口 雄斗 さん

現代は、ヒト・モノ・サービス・カネ・情報が国境を越えて行きかいます。目まぐるしく変わる社会情勢を的確に把握するためにはグローバルな経済的視点が必要不可欠です。その第一歩となるような、学部独自の留学プログラムを経済学部では展開しています。

30日間のプログラム

▶ 2024年度実施

ニュージーランド ワイカト大学

詳細はこちら



- 内容 ● プレイメントテストの成績に応じたクラスで英語力を向上させます
● 英語でニュージーランドの社会や経済、SDGsなどについて学びます
また、ワイカト大学の学生との交流を深めることができます
● ホームステイを通じ、日常的に英語に触れて生活できます

▶ 2025年度実施予定

オーストラリア シドニー大学

詳細はこちら



- 内容 ● 少人数クラスで集中的に英語を学び、英語力を飛躍的に向上させます
● 興味のあるトピックを掘り下げ、プレゼンテーションを行うことで自分の考えや主張を英語で相手に伝える力を養います
● ホームステイを通じ、日常的に英語に触れて生活できます

参加学生のアンケートより

▶ 留学経験



▶ 本プログラムを通して得たもの

- コミュニケーション能力
- 異文化理解
- 視野の広がり
- 積極性
- 価値観の変化

▶ 参加学生の声

- 「学年を越えた交流が生まれ、学部内で多くの友人ができた」
- 「ホームステイ先は自由主義な人たちで基本的に自由に過ごせた」
- 「現地の先生は陽気で優しい方が多かった」
- 「留学先のキャンパスはきれいで、すれ違った人とあいさつをするような温かい雰囲気だった」
- 「事前授業がとても楽しく、この仲間でおーストラリアに行くんだとワクワクした」
- 「今後、長期の留学を考えている人にもオススメです」
- 「サポートが事前の段階から手厚く、安心できた」

「多国籍な環境での学びを通して積極的に学び、話すことの重要性を実感しました」



3年次生 吉田 彩乃 さん

オーストラリア・シドニー大学に留学し、世界中から集まった学生と机を並べて学びました。将来のために意欲をもって学ぶ彼らと接するうちに、積極的に学ぶことや、たとえ外国語運用能力に自信がなくても臆さず意見を表明する姿勢の大切さを実感しました。また、現地の物価高や賃金の相場、家族を大切にすることや、日本とは違う経済・文化に触れたことで、将来を考える上での視野が広がったと感じています。



▶ 留学に先立ち、事前授業が実施されることも本プログラムの特徴。ほかにも時間を見つけて発音や文法、語彙力など外国語運用能力の向上にも努めました。



▶ 休日にはともに参加した友人たちとシドニーの名所を散策。買い物で物価高を肌で感じたり、街の様子を観察して現地の文化について考える機会に。

社会的課題に向き合う

経済学部では、3年次よりゼミに所属し、少人数で研究内容を深めることができます。各々のゼミでは幅広いテーマを扱っていますが、ここでは現代の社会が抱えるさまざまな課題に多様な方面からアプローチしているゼミを中心に紹介します。

本西ゼミ

問題意識をもって社会を見渡し 解決策を考える



竹野さんに聞きました！
ゼミナール Q & A

本西先生からのメッセージ

実際に現地を訪ね、地元の方々から話を伺いました

地方自治体の経済政策をテーマに研究を行っています。その一環として、兵庫県南東部にある猪名川町の政策研究に取り組んできました。猪名川町は大阪の都心部にアクセスしやすい立地でありながら、自然が多く残り、憧れの田舎暮らしを送ることもできる魅力的な地域です。私たちは『猪名川町に合った猪名川町のための政策』の提言を最終目標として、実際に現地へ足を運び、地元の方に取材する現地調査を実施しました。



地域をより活性化するための政策を実際に提言することができました

交通の便や関係者の高齢化など、現地を訪ねたからこそ見えてきたこともありました。そして調査結果をもとに、私たちは地域のボランティア協会、観光協会と連携することを提言しました。猪名川町には複数の観光資源がありますが、現在はボランティアの方が観光ガイドを務めています。この仕組みをNPO法人化して謝礼をお渡しすることでガイド内容の充実を図ること、スマホアプリを使ったデジタルスタンプラリーを導入することなどを提案しました。こうして経済学部生ならではの視点で分析した内容を、地元の方々に発表させていただきました。



2024年3月卒業
竹野 成美さん(本西ゼミ所属)

身近なニュースや出来事をテーマに研究を行い、 グループで課題解決につながる政策を考える

報道や身の回りで起こった出来事から問題点を発見し、その解決のために必要な政策を考えることが本ゼミのテーマです。授業では具体的なニュースを取り上げ、学生からも積極的に質問を受け付けながらその背景や解決策について考えていきます。

竹野さん達は猪名川町ならではの特色を探し、観光プロモーションの提案を行いました。ボランティア団体の方などから話をお聞きして現実を知り、他の自治体の事例などを調べながらその都度自分たちの仮説を修正しながら地に足のついた政策へと落とし込んだ点は高く評価できます。

本ゼミではグループ単位で卒業論文を執筆します。地道な調べが得意な人、アイデアをどんどん出せる人など、それぞれの特徴を生かして役割を分担することで論文の質が高まります。また、他人と連携・協調しながら卒業論文執筆という目的を達成する経験は、社会に出てからも大きな助けになると考えています。



経済政策コース
本西 泰三教授

Q. なぜ本西ゼミを選びましたか？

A. 実際に地域活性化のための政策提言を行うという活動内容に魅力を感じました。また、グループワーク中心の活動を通して、他のゼミ生の意見を取り入れながら、自分の考えを深めることができると考えたからです。

Q. ゼミ活動はどのように進めていますか？

A. 日常的に時事問題を取り上げ、質問や議論を行うことで、課題を探し解決策を考える習慣を身に付けることができました。また意識的にグループ内での話し合いの回数を増やし、自分は何ができるのか、仲間は何を頼みたいのかを自ら発信することができるようになりました。

Q. ゼミでの経験をどのように生かしていきたいですか？

A. 卒業後は、公務員として政策提言を行い、地元に貢献したいと考えています。ゼミで培ったコミュニケーション能力や、問題点を発見して解決策を考える力を生かして活躍することが目標です。

ゼミ紹介

後藤 ゼミ

大学の枠を超えた政策提言で地域経済を動かします

現代の日本における地域産業・経済の発展をめざす

学生を主体とする実践的な政策提言型プロジェクト「SKIMA Project」を運営しています。このプロジェクトは鹿児島県曾於市と連携し、地域産業・経済の発展をめざすものです。学生が現地を訪れて実際に調査を行い、現実の発展・開発課題に向き合いながら考えを深め、問題解決へのアプローチ方法を探ります。市役所、市議会、企業、さらには近隣の自治体も巻き込む本気のプロジェクトですから、学生の言動にはとても大きな責任が伴います。コミットメントに対する自主性・考動力・チーム力が問われる中で、頭だけではなく体を動かす経験を通じて、グローバル社会を生き抜く力を身に付けてもらいたいと考えています。



国際経済コース
後藤 健太教授

柏原 ゼミ

現代の日本社会が抱える問題を歴史的な視点から考察します

物事を長期的かつ冷静にとらえる視点を身に付ける

現代の日本社会はさまざまな問題を抱えています。問題が大きくなり長期化すると、容易に解決できない場合が少なくありません。このゼミでは多様な問題の歴史的な経緯を丁寧に解きほぐし、過去の成功例や失敗例などからその解決を考えます。単に歴史を学ぶだけではなく、現代との対話を頭に置いて研究することを大事にしています。現代と歴史の双方を追うことは大変な面もありますが、ここで獲得した物事を長期的かつ冷静にとらえる視点は、いろいろな場面に応用できて、社会に出てからも役に立つと思います。また、ゼミの親睦を深めるために、日本史に関係する場所へ見学に行くことも楽しみの一つとなっています。



歴史・思想コース
柏原 宏紀教授



PBL教育



経済学ワークショップ

経済学部生全員が1年次・2年次に履修する「経済学ワークショップ」では、グループで課題解決に取り組むPBL教育(Project-Based Learning)を導入しています。PBL教育では課題解決の方法を自分たちで一から主体的に考え、解決策を発表。グループワークの中で、ノートテイキングやプレゼンテーション、ディスカッション、レポート作成などの基礎的スキルを身に付けながら、経済学部での学びや社会で役立つ基礎能力を養います。

少人数クラス制の実践的な学びで、主体的な課題解決スキルを身に付けます

経済学ワークショップI(1年次春学期)

経済学部生としての学習に必要な情報収集能力、プレゼンテーション能力、レポート作成能力などを身に付けることを目的としています。

経済学ワークショップII(2年次秋学期)

3年次以降の専門科目を学ぶ際に必要なデータ分析に関するさまざまな知識・技術を身に付けることを目的としています。

POINT

- 1 専任教員がクラス担任となる少人数クラス制授業!
- 2 BYOD (Bring Your Own Device) 対象科目となり、基本的には自身のパソコンを持ち込んで受講!
- 3 ワークショップIIでは習熟度別のクラス編成に!

経済学ワークショップI・IIを受講した学生に聞きました

「発表や論文執筆、データ分析など、経済学部での学びに不可欠な知識や技術を学びます。」

経済学ワークショップIでは、論文の書き方や研究発表の方法といった基礎的な力を身に付け、その集大成としてグループで「一泊二日の旅行プラン」を立て、発表しました。少人数制なので質問やディスカッションがしやすく、グループ発表でもうまく役割分担ができました。ワークショップIIでは、主にExcelを使って統計やデータの可視化、回帰分析といったデータ分析の基礎を学びます。この科目で身に付けたデータの正しい捉え方や扱いは、3・4年次のゼミでも大いに役立っています。ワークショップという「ステップ」を踏むことで、授業の専門性が高くなっても無理なく学びを深められたと感じています。

4年次生 大迫 翔輝さん

大迫さんの場合

経済学ワークショップIの学びの例

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| STEP1 課題の把握 | 旅行プランを提供する客層や価格帯などの設定 |
| STEP2 グループディスカッション | メンバーの出身地や認知度をもとに議論し、旅行先を決定 |
| STEP3 情報収集・分析(授業内外) | 歴史や観光地、ご当地グルメといった情報を収集・整理 |
| STEP4 解決策の立案・発表 | 発表の印象度を高めるため、発表内容のコンセプトを明確化 |
| STEP5 フィードバック・振り返り | コンセプトに沿ってプレゼン資料を作り込み、1位の評価を受ける |

経済学ワークショップIで身に付いたこと

発表の準備を進める過程で、周囲と協力して課題に取り組む力が身に付きました

経済学ワークショップIIで身に付いたこと

標本数や散布図の散らばりなど、さまざまな方向からデータを吟味する力が身に付きました

ゼミナール大会



第59回経商合同学内ゼミナール大会を開催

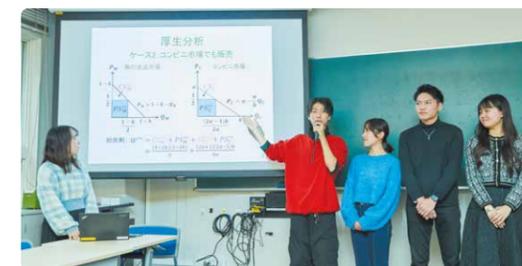
経済学部・商学部が合同で行っている学術大会です。さまざまなゼミから学生たちがチームを組んで参加し、約1年間にわたって学んできた研究成果の集大成を披露します。59回目を迎えた2023年度はプレゼンテーション部門、研究発表部門に分かれ、経済学部からは約90チームが参加しました。年に一度の貴重な機会を生かし、学生間でも積極的な意見交換がなされるなど、大いに盛り上がりました。

発表テーマ

コンビニエンスストアの異業種とのコラボ戦略が市場に与える影響～無印良品のケース～

異業種間の業務提携が生む成果を、理論モデルを用いて考えました。

私たちは、全国展開する総合小売りブランドとコンビニエンスストアのコラボレーションについて研究しました。学生にも身近なコンビニエンスストアが無印良品と業務提携しているというニュースに着目し、この顧客層が異なる異業種間の業務提携によって売り上げが増えるのかという疑問を持ったことが研究の出発点です。同じコンビニエンスストアでも、F社とL社とはコラボレーションの結果に違いがあったことから、私たちは販売価格や数量、業務提携料などを取り決める各社間の交渉に注目し、経済学の理論モデルを用いて、交渉のプロセスや結果について分析しました。また、こうしたコラボレーションによって当初は「経済厚生」、つまり消費者の満足度を含めた社会全体の利益が上がると考えましたが、研究を進めるうちにそうではない場合があることが見えてきました。

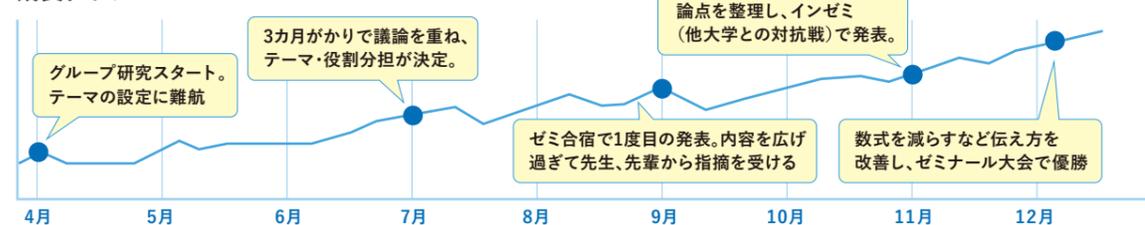


3年次の12月に行われるゼミナール大会でのプレゼンテーションに向けて、グループで役割を分担し準備を進めました。市場やコラボレーション事例の調査から問題提起、理論モデルを使った分析など、5人がそれぞれの強みを生かしながら、試行錯誤を重ねました。プレゼンテーションでは、分かりやすく伝えることを強く意識しました。この研究にはたくさんの数式を用いていますが、それらを前面に出し過ぎると聴衆にとっては難解になってしまいます。ゼミの先輩がつくったスライドを参考に、数式は最低限に抑え、図表も効果的に使って視覚的に伝わりやすい構成を意識しました。ゼミ合宿や他大学との対抗戦では数多くの指摘をいただき、期限ぎりぎりまで修正を繰り返して本番のゼミナール大会に挑み、優勝することができました。



いずれも4年次生、石井ゼミ所属

成長グラフ



ゼミ紹介

野坂 ゼミ

労働に関するさまざまな分野を経済学の視点から追究します



産業・企業経済コース 野坂 博南 教授

自身が働くことと経済全体のつながりを理解する

ワークライフバランスや女性の雇用、非正規雇用、外国人雇用、所得格差や貧困問題、教育と雇用の関係など、労働問題を中心にさまざまな分野を取り扱います。働くことは、学生の近い将来とも密接に関係するテーマです。就職活動に臨む前に労働に関する分野を学び、日本の働き方の特徴やその背景を研究することは、今後の生き方の重要な指針にもなるでしょう。研究においてはただ現象を追うのではなく、背後にある経済メカニズムを明らかにし、その根拠を客観的に示すデータの扱い方を身に付けてもらいます。最終的には、卒業論文を作成する分析力、構成力、文章力を付けてほしいと考えています。



担当教員のコメント

企業や産業の動きを、経済学の理論を用いて分析しています。

企業の戦略や産業の分析を理論的に行っています。学生が身近なところから見つけてきた研究テーマについて、そのテーマの何が面白いのか、どう掘り下げれば面白くなるのかを、経済学の知識を受けながら一緒に考えます。このグループは予選の評価が思わしくなかったため、優勝できたことには驚きました。しかし、異業種間の業務提携は交渉によって結果に違いが生じること、研究の副産物である経済厚生が悪化する場面があることにも目を向けたことが高い評価につながったと感じています。理論モデルが導き出す結果の解釈など、専門的な部分はサポートしますが、問題をいかに考え、結論までもっていくかは学生に任せています。ゼミ活動での産業・企業の分析を通して新しいことを見つける難しさや、見つけたことを分かりやすく伝える経験をたくさん積んでほしいと考えています。



産業・企業経済コース 石井 光 教授

経済学部でつかんだ将来

～志望企業に内定した学生が語る4年間～

大学生活におけるさまざまな経験は、一人ひとりの未来を決める一助となります。経済学部で4年間学び、卒業する2人の先輩に、学生生活における経験と成長、そして大学卒業後の目標についてお話しいただきました。

経済産業省 に内定

2022年3月卒業
宮下 拓真さん

入学時

社会に出るまでに世の中の 仕組みをしっかりと理解したい

なぜ失業が起こるのか、GDPとは具体的に何なのか、為替レートが変動するとどうなるのかなど、高校時代に深く理解できていなかった世の中の仕組みについて、社会に出る前にしっかりと学んでおきたいという思いから、経済学部を志望しました。また、高校時代に交換留学生と交流した経験から留学にも関心があり、学部独自の留学制度「GoLDプログラム」がある関西大学経済学部を選択しました。

1年次

グループワークを通して 大学での能動的な学び方を習得

1年次では導入科目を通じて、経済学の基礎知識を習得します。はじめは一つひとつの経済用語や理論を覚えることで精一杯でしたが、このときに頑張って身に付けた知識が、2年次以降の専門的な学びにおいて大きな助けになりました。また「経済学ワークショップ」では、少人数でグループを組み、ディスカッションやレポート作成、プレゼンテーションを経験。高校までとは異なる、能動的に学ぶスタイルを身に付けました。



2年次

GoLDプログラムを利用してニュージーランドに留学

経済学部のGoLDプログラムを利用してニュージーランドの大学に短期留学。英語で経済学の授業を受けるとともに、同国の先進的なエネルギー政策や環境対策について学びました。現地の方々に原子力の是非についてリサーチし、帰国後日本との比較を基に英語で発表し、レポートも作成しました。持続可能な未来のヒントとなる研究であると評価されたことで自信につながり、卒業論文のテーマとして継続し研究を進めることになりました。



4年次

留学経験で得た発見を卒業論文に 継続的な学びは就職活動のプラスにも

「エネルギー転換がもたらす世界の未来と日本の課題」をテーマに卒業論文を執筆しました。パリ協定以降の世界の急激なエネルギー政策の転換と、遅れをとっている日本の現状を比較し、コストや市場価格といった視点を踏まえてエネルギー政策の在り方を論じています。2年次の留学以来、継続的にこのテーマに取り組んできたことで、就職活動においても自身のやりたいことを明確に伝えることができました。



3年次

専門性の高い学びを通じ 遠い海外での出来事も 身近に感じられるように

留学を経て日本と海外の違いを強く実感したこともあり、帰国後は国際経済コースを選択。主にアメリカ経済やアジア太平洋経済など地域ごとに異なる経済発展のプロセスを学び、ゼミではアメリカ大統領選の結果が日本経済に及ぼす影響について分析しました。専門性が高い学びのなかで、ものの見方が変化し、テロ事件や原油の値上げ、飢饉といった遠い国々の出来事も自分の日常につながっていることを実感できるようになりました。



システム サポート に内定

2024年3月卒業
山本 菜々美さん

入学時

さまざまな視点から経済を学ぶ ことで進路の幅が広がると感じた

経済学にはマーケティングや会計、統計学やゲーム理論など幅広い分野があり、それらを学ぶことで社会の成り立ちが理解できると考えました。また、得意な数学を生かして理論的な思考力を磨くことができ、進路の幅が広がると考えたことも経済学部を選択した理由です。関西大学には高校時代に所属していたサッカー部の試合で訪れたことがあり、キャンパスの広さやアクセスの良さ、学内や周辺の活気にも魅力を感じ、入学を決めました。



1年次

ミクロ経済学を学び、 経済現象を論理的に考えること の面白さに触れた

「ミクロ経済学」「マクロ経済学」を中心に、経済学の基礎を学びます。1年次には幅広い科目を履修しましたが、ミクロ経済学で企業の販売戦略や価格設定について論理的に考えることの面白さに触れたことで、その後の学びの方向性が固まりました。また、「統計学」や「ツール入門」で習得した経済学の研究に不可欠な理論や手法は、その後のゼミ活動や卒業論文執筆においても大いに役立っています。

2年次

ステップアップする学びの中で 自分の興味・関心をさらに深掘りする

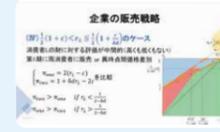
社会にはどのような市場が存在し、そこでは企業がどのような行動をとっているのかなど、1年次に興味を抱いたミクロ経済学をさらに深掘りしました。他の科目でもより専門性が高まり、「行動経済学」や「ゲーム理論」といった人間の心理的な要素を含む分野にも関心が深まりました。また好きな数学を活かせる「簿記演習」も、複雑な式から答えにたどり着くプロセスが楽しく、検定に合格するほど勉強に打ち込みました。



3年次

ゼミ活動でプレゼン能力や チームワークを磨き ゼミナール大会で 部門優勝を収める

産業・企業経済コースに所属し、企業のマーケティングや戦略についてさらに学びを深めました。ゼミでは食品ロス問題の解決方法についてグループで考えました。研究内容をまとめる上では、伝わりやすい表現や文章構成について学び、協調性や積極性を発揮しながら自分の役割をこなすという意識も高まりました。チームとして成果を出すためのスキルが向上したことで、「経商合同ゼミナール大会」の研究発表部門(第5会場)で優勝することができました。



4年次

楽しく学べたことで成績優秀者に 選ばれ就職活動でも大きな アピールポイントに

3年次の研究テーマをもとに卒業論文を執筆しました。その時の需要に合わせて価格を変える「ダイナミックプライシング」という仕組みを食品ロスの解決につなげようと考えましたが、当時は先行研究がなく、海外の論文を参考にしながらより現実の市場に近付けて考えるためのモデルを構築しました。経済学部の学びは、いずれも楽しく、成績も自然と伸びました。学年の成績優秀者に選ばれ、就職活動でもアピールすることができました。

社会での 活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A 経済学を通して身に付けた幅広い教養が、自分の考え方のベースをつくってくれました。また、国家公務員試験では地域課題や人口動態など、学んだことが出題される機会も多く、経済学部での学びが役立ちました。

Q 卒業後の目標は？

A 内定をいただいた経済産業省では、エネルギー政策や中小企業支援、地域課題の解決などといった幅広い社会課題に取り組むことができます。学部で学んだことを生かし、日本がより良い方向に向かうための力になればと思います。



社会での 活躍

Q 経済学部で身に付けた強みは？

A ゼミでは3度の大会に出場し、苦手だった人前での発表が克服できました。また経済や社会の動きを、理論的かつ粘り強く考えるうちに身に付いた思考力や継続力も、強みにつながったと感じています。

Q 卒業後の目標は？

A 卒業後はソフト管理システムなどを開発している企業で、システムエンジニアとして勤務する予定です。経済学部で身に付けた論理的思考力やコミュニケーション能力をさらに伸ばして、周囲から信頼され、愛される人間になることが目標です。



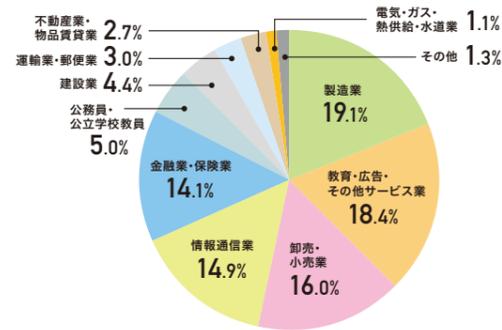
キャリアデザイン

就職率 **98.0%**

男子 **98.2%** 女子 **97.5%**

経済学部の卒業生は、メーカーをはじめ、金融・保険、情報通信、公務員など多様な分野に就職しています。本学はキャリア支援に力を入れており、毎年500社以上の企業を学内に招きセミナーを実施しています。業界・企業研究セミナーに加え、一次選考も含めて学内で実施する単独企業セミナーなど、学生の興味・関心の幅を広げるプログラムを取り揃えています。

2023年度
業種別
就職状況



就職先の一例(2023年度実績)

製造業	アイシン、アイリスオーヤマ、インダ、いすゞ自動車、伊藤ハム、イトーキ、関西ペイント、キーエンス、京セラ、キリンホールディングス、クボタ、グンゼ、神戸製鋼所、信越化学工業、スズキ、セイコーエプソン、ダイハツ工業、テルモ、東ソー、東洋紡、東レ、DO WAホールディングス、TOPPAN、日清紡ホールディングス、日東電工、ニッポン、日本触媒、日本電気(NEC)、パナソニックグループ、P&Gジャパン、富士通ゼネラル、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ、三菱電機、村田製作所、森永製菓、山崎製パン、レンゴー、ロッテ など	金融業・保険業	あいおいニッセイ同和損害保険、尼崎信用金庫、池田泉州銀行、関西みらい銀行、北おおさか信用金庫、紀陽銀行、京都銀行、ジェシービー、信金中央金庫、住友生命保険、第一生命保険、大同生命保険、太陽生命保険、大和証券、中国銀行、南都銀行、日本政策金融公庫、日本生命保険、野村証券、百十四銀行、みずほ証券、みずほフィナンシャルグループ、三井住友カード、三井住友銀行、三井住友信託銀行、明治安田生命保険、リそなグループ など
教育・広告・その他サービス業	アクセンチュア、有限責任あずさ監査法人、西日本高速道路(NEXCO西日本)、パスコ、阪神高速道路、ペイカレント・コンサルティング、マイナビ、読売広告社 など	公務員・公立学校教員	国家公務員一般職、滋賀県職員、大阪府職員、兵庫県職員、京都市職員、大阪市職員、堺市職員、吹田市職員、和歌山市職員、大阪府教員、福岡県教員、大阪府警察官、大阪市消防吏員 など
卸売・小売業	伊藤忠食品、稲畑産業、因幡電機産業、岩谷産業、花王グループカスタマーマーケティング、加藤産業、シャープマーケティングジャパン、ダイワボウ情報システム、帝人フロンティア、豊田通商、ニトリ、阪和興業、三菱食品、山善、リコージャパン など	建設業	一条工務店、きんでん、住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業、パナソニックホームズ、LIXIL など
情報通信業	インテック、NECソリューションイノベータ、NECフィールディング、NSD、大塚商会、オービック、スマセイ情報システム、DTS、日本総合研究所、日立社会情報サービス、BIPROGY、富士ソフト、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン、U-NEXT HOLDINGS、ユニアデックス、吉本興業ホールディングス、リクルート など	運輸業・郵便業	ANA関西空港、近畿日本鉄道、スカイマーク、西日本旅客鉄道(JR西日本)、日本郵便、阪急阪神エクスプレス、三井倉庫ホールディングス など
		不動産業・物品賃貸業	オリックス自動車、日建リース工業、三井不動産リアルティ など
		電気・ガス・熱供給・水道業	大阪ガス、関西電力 など

※原則として業種別、50音順で記載しています

卒業生からのメッセージ

経済学部の卒業生は、国内外の経済を理論と実践から学んだ経験を活かし、幅広いフィールドで活躍しています。

先輩方から、現在のキャリアに在学中の学びがどのようにつながっているかを教えてもらいました。

ゼミナール大会に向けて 自分たちで考え抜いた経験が 日々の営業活動を支えています



小林製薬株式会社

2021年3月卒業
糸井 大貴さん

小売店舗との商談、売場づくりを担当

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
卒業後も生かせる基礎知識と考え、意欲的に学びました
- 3年次 ゼミでアジア経済を学ぶ
発展が著しい中国を中心にアジア経済について研究しました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
固定ファンが多い「ラーメン二郎」の経済効果について掘り下げました

ゼミ活動を通じて身に付けた データを集めて分析する能力が 現在の業務に役立っています



楽天株式会社

2019年3月卒業
西 彩佳さん

スマートフォンの基地局設置の進捗管理を担当

現在につながる在学中の学び

- 1年次 ミクロ経済学・マクロ経済学を学ぶ
経済学の観点から世の中を学ぶための基礎を身に付けました
- 2年次 アメリカ・ロサンゼルスへ留学
さまざまな国籍の学生と交流し、多様な考え方を知りました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
学びの集大成として「価値を高めるブランド力」について研究しました

ゼミのプレゼンテーションを通して培った協働力が現在の業務にもつながっています



大同生命保険株式会社

2019年3月卒業
清水 愛理さん

新契約引受の部署で医療管理事務を担当

現在につながる在学中の学び

- 1年次 経済学の基礎を学ぶ
ミクロ経済学・マクロ経済学の授業で基礎を身に付けました
- 2年次 研究の進め方を身に付ける
プレゼンテーションを行い、情報収集力と伝達力を高めました
- 4年次 卒業論文の作成に注力
「ディズニーランドはなぜリピーターが多いのか」をテーマに研究しました

在学中に得た業界分析と企業の意思決定の知識が 日々の業務で生きています



パナソニックコネクティブ株式会社

2016年3月卒業
柏原 貴之さん

業務用プロジェクトなどのマーケティングを担当

現在につながる在学中の学び

- 2年次 GoLDプログラムに参加
アテレード大学で学び、グローバルに関わる仕事を志望するようになりました
- 3年次 ゼミ大会に出場
グループでの準備、発表を経験し、組織の中で働くことを意識するようになりました
- 4年次 懸賞論文に応募
ゼミのチームで懸賞論文に応募し、最優秀賞をいただきました